学校名 川内南中学校

校長名

松本 眞一

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評定(数値平均)				主な意見			
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数	平均	・今後も学校だよりなどで保護者や地域に積極的に発信していく。	段階	人数	平均	・学校運営協議会で担当職員を交え、詳しく説明していただいた。学校だよりでも様子が良く分かった。
			A	6	3.0		A	6	4.0	
			B	22			B	0		
			C	5			C	0		
			D	0			D	0		
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階	人数	平均	・もう少し学び合いを充実させたい。(聴き合い・教え合い・支え合い 3つの「合い(愛)」で深まる絆)	段階	人数	平均	・学校だより、学年だよりで生徒の活躍や学校行事等での努力の様子が伝わった。
			A	7	3.1		A	6	4.0	
			B	23			B	0		
			C	4			C	0		
			D	0			D	0		
3	(2)	子供たちは、「学校が楽しい」と感じ、生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	平均	・生徒同士が関わる場をもう少し設定したい。	段階	人数	平均	・体育大会や合唱コンクール、美術作品等により、生徒が生き生きとしている姿を見ることができた。
			A	5	3.1		A	4	3.7	
			B	29			B	2		
			C	0			C	0		
			D	0			D	0		
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	平均	・構成的グループエンカウンターや生徒会活動、学校行事の更なる充実を図る。	段階	人数	平均	・行事等の生徒の様子等は生き生きとしている姿が見られた。 ・課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。
			A	14	3.4		A	3	3.5	
			B	19			B	3		
			C	1			C	0		
			D	0			D	0		
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	平均	・安全指導や保護者と連携した登校指導、地区コミと連携した見守り活動等を推進していく。	段階	人数	平均	・自転車、歩行者のマナーの向上を図るとともに、青パト隊との情報交換及び地域の協力が必要なのでは。
			A	16	3.5		A	1	3.0	
			B	18			B	4		
			C	0			C	1		
			D	0			D	0		
6	(4)	教職員は、子供と望ましい関係を築いており、保護者や地域との交流が図られている。	段階	人数	平均	・生徒と関わる時間を確保していく必要がある。	段階	人数	平均	・授業や部活動の様子等から良い距離感で指導できている。 ・地域イベントに率先して協力する教職員がいる。
			A	9	3.2		A	3	3.5	
			B	23			B	3		
			C	2			C	0		
			D	0			D	0		
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	平均	・清掃については、生徒主体の清掃活動を推進していきたい。	段階	人数	平均	・トイレ、花壇、自転車置き場、廊下等全て整理整頓されている。 ・学校主事等が頑張って管理されている。
			A	19	3.5		A	5	3.8	
			B	13			B	1		
			C	2			C	0		
			D	0			D	0		
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に点検され、安全な状態が保たれている。	段階	人数	平均	・自分たちでできることは徹底していく。	段階	人数	平均	・トイレの洋式化を図るべきである。 ・老朽化が進んでいる設備は改修が必要だと感じる。
			A	15	3.4		A	2	3.0	
			B	19			B	2		
			C	0			C	2		
			D	0			D	0		
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	平均	・学校だよりなどで積極的に発信していく。	段階	人数	平均	・運営協議会の資料で各教科の実態が分かった。 ・学校だより等で、子供たちの様子や実態を把握できた。
			A	7	3.1		A	3	3.2	
			B	25			B	2		
			C	2			C	0		
			D	0			D	1		
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	平均	・学校運営協議会でPTA会長等と意見交換する時間を設定する。 ・学校支援ボランティアを推進していく。	段階	人数	平均	・学校と地域の情報の共有や、PTAとの情報交換や意見交換が必要である。
			A	7	3.1		A	0	3.0	
			B	24			B	6		
			C	3			C	0		
			D	0			D	0		

学 校 名
薩摩川内市立川内南中学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)		
			評定(数値平均)				評定(数値平均)	主な意見	
11	(6)	小中一貫教育は、小中間の交流活動等が積極的に行われ、成果が現れている。	段階	人数	平均	・交流学習会等で中学校への不安は減っているので、今後は学力向上・生徒指導において更に連携を図りたい。	段階	人数	平均
			A	8	3.1		A	2	3.3
			B	20			B	4	
			C	6			C	0	
D	0	D	0						
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えている。	段階	人数	平均	・学校だよりなどで薩摩川内元気塾の内容や感想等を発信していく。	段階	人数	平均
			A	11	3.2		A	1	3.2
			B	20			B	5	
			C	3			C	0	
D	0	D	0						
13	(6)	英語の授業では、子供も教師も笑顔でコミュニケーション活動を行い、英語力が身に付いている。	段階	人数	平均	・コミュニケーション活動を積極的に行う生徒は多いので、今後も表現活動を一定時間確保して取り組んでいく。	段階	人数	平均
			A	5	3.1		A	3	3.5
			B	27			B	3	
			C	2			C	0	
D	0	D	0						
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	・生徒会活動の活性化により改善を図る。	段階	人数	平均
			A	5	3.1		A	1	3
			B	26			B	5	
			C	3			C	0	
D	0	D	0						
15	(8)	服務規律の厳正確保と校務の整理について、全職員の理解と実践がなされて	段階	人数	平均	・服務規律の厳正確保については、職員同士が互いに声掛けをして、教育に携わる者として自覚を高める。	段階	人数	平均
			A	23	3.7		A	/	/
			B	11			B	/	
			C	0			C	/	
D	0	D	/						
16	(8)	/	段階	人数	平均	/	段階	人数	平均
			A	/	/		A	/	/
			B	/			B	/	
			C	/			C	/	
D	/	D	/						

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

＜学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策＞

- ・学校だよりなどを活用して、更なる情報発信に努める。
- ・生徒会と連携しながら、学力向上・不登校対策等に取り組んでいく。(生徒会スローガン「思いやりの絆で一人一人の笑顔の花咲く学校」～聴き合い・教え合い・支え合い 3つの「合い(愛)」で深まる絆～)
- ・教育の質を上げていくための働き方改革を推進する。
- ・生徒主体の清掃活動を推進していく。
- ・学校支援ボランティアを推進していく。
- ・地域との交流を活性化するために、川内南中学校美術館を充実させる。
- ・学校運営協議会でPTA会長等と委員が意見交換する時間を設定する。